

## TFCやまだ工場で技能講習修了式 工場初の新造船をお披露目

10月7日、大沢の(株)ティエフシー（神原潤社長）のやまだ工場で、造船技能者養成事業の技能講習4期生5人の修了式が行われました。同社は震災後初の誘致企業であり、今回の4期生を含めて15人が雇用されています。今回の修了式では、1期生から4期生の講習の成果として同工場初の新造船となるアルミ製漁船の披露も行われました。4期生の田村千之さんが船の完成を報告した後、神原社長が5人に修了証を授与。同じく4期生の佐藤聖一さんは「生まれ育った町の役に立ちたい」と話しました。



## 町内外から多数が出店 山田農業まつり盛大に開催

恒例の山田農業まつりが10月20日、豊間根中学校グラウンドで開かれました。新鮮な農産物やみそ、団子などの特産品を市価より2～3割安く販売するブースが立ち並び、多くの町民らが詰め掛けました。千葉県で合併前の旧山田町が本町と姉妹都市提携していた香取市の方々も出店し、特産のサツマイモやゴボウを安価で提供。会場で力強く和太鼓を演奏した同市が拠点の「和太鼓舞華」の一員、渡邊久美子さんは被災地の現実に対し、「ご縁のある皆さんを少しでも元気づけられれば」と話しました。

## 町民駅伝大会に64チーム 秋の山田でたすきつなく

町民駅伝大会が10月6日、山田北小学校近くの周回コースを1チーム5人で走る10.7kmの距離で行われ、64チーム・約340人が参加しました。小学生男子の部は山田南小「南オールスターチルドレン」が42分48秒57、同女子の部は豊間根小「豊間根ミニバスA」が47分21秒62の記録で優勝しました。その他の優勝チームは次のとおりです。〈中学生男子〉駅伝部A（男子）、〈同女子〉駅伝部（女子）、〈高校生以上一般男子〉航空自衛隊 ドドリア、〈同女子〉船越Jスラッキーマリノ・A



## 山田中2年が町内で職場体験 働くことの意義を学ぶ

山田中学校（福士幸雄校長）の2年生132名は10月8日、職場体験学習を行いました。進路学習の一環として3年ぶりに実施されたもので、生徒らは町内48の事業所の協力により、働くことの意義や価値、社会人としての心構えを学びました。このうちびはんプラザ店（中央町）では、生徒3人が商品の陳列などの業務を体験。参加した武藤陸さんは「細かい作業だけど、お客さんの立場に立って商品の並べ方に気を付けていることが分かった」と学習の成果を話しました。

※この記事と写真は、町総務課へ職場体験に訪れた澤田拓真くん（山田中2年）が取材し、作成したものです。



# 田町のわだい

今月の題字 齋藤 陽愛ちゃん（織笠小2年）



## 山田邦子さんが復興ふるさと大使 持ち前の笑顔で本町をPR

10月14日、タレントの山田邦子さんに対する「山田町復興ふるさと大使」の委嘱状交付式が町長室で行われました。これは震災以降、苗字が同じ「山田」という縁で本町を支援していたことがきっかけとなり、同大使に選ばれたものです。佐藤町長から委嘱状を交付された山田さんは「責任重大だが、自分なりに山田の幸、見どころをPRしていきたい」と意気込みを話しました。引き続き、町中央公民館において開催されていた「澤田薫 & 山田吹奏楽団ジョイントコンサート」で就任を発表。また、15日には町内3カ所の仮設団地を訪れ、早速住民らと交流を深めました。

## 第15回わたしの主張岩手県大会 山田中の中村さんが最優秀賞

9月19日に矢巾町の田園ホールで行われた「第15回わたしの主張岩手県大会」において、山田中学校3年の中村奈緒さんが最優秀賞に輝きました。同大会には地区代表18人が参加。中村さんは自宅が被災した経験をもとに、「それまでの当たり前だった日常生活が、どれほど大切なものだったか」と語り、再利用できる物をそのまま捨て、校舎を大切に使用しない現状を「不当な当たり前」と指摘しました。9月26日に報告のため町長室を訪れた中村さんは、受賞について「指導してくれた先生と普段お世話になった皆さんのおかげです」と感謝の気持ちを話しました。

